

事務事業チェックシート

事務事業No 658 事業名 公民館活動事業（各種大会事業）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		公民館費	
	大事業		公民館事業	
事項		公民館活動事業（各種大会事業）		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	3	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
基本方針	2	生涯にわたる学習活動の支援

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	生涯学習基本計画		
担当課・担当課長 (Tel)	中央公民館	生地	顕 (435-1193)
関連課	生涯学習課		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	公民館活動を円滑にし、最新の公民館活動情報に接することで館長の研修を進めるため	各種大会への参加				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		全国公民館研究集会 (10/17, 18 富良野市)	全国公民館研究集会 近畿公民館大会 和歌山県公民館大会への参加	全国公民館研究集会 (10/15, 16 鳥取市)	全国公民館研究集会 近畿公民館大会 和歌山県公民館大会への参加	全国公民館研究集会 近畿公民館大会 和歌山県公民館大会への参加
		近畿公民館大会 (11/14, 15 奈良市)		近畿公民館大会 (11/20, 21 長岡京市)		
		和歌山県公民館大会 (3月1日 海南市) への参加		和歌山県公民館大会 (2/27 那智勝浦町) への参加		

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費	173	161	93	113	117	115	103	103	103	103
	伸び率 (%)	-	-	-46.2%		25.8%		-12.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員		634	634	1,112	1,117	1,015	1,015	1,015	1,015
		非常勤職員		335	335	168	168	178	178	178	178
		小計		969	969	1,280	1,285	1,193	1,193	1,193	1,193
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源 (税等)	173	161	93	113	117	115	103	103	103	103
所要人数	常勤職員		0.08	0.08	0.15	0.15	0.13	0.13	0.13	0.13	
	非常勤職員		0.16	0.16	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
主な予算内訳	旅費 110千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	参加数	年度目標値			3	3	3	3	3	
		実績値			3	3	3			
	単位	回	全体目標値	15	全体目標達成度	60.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
							年度目標値			
	成果指標	年度目標値								
実績値										
参加者数	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
	人	560	全体目標達成度	28.3%	年度目標値	65	65	65	300	65
					実績値	71	44	44		
					年度別達成度	109.2%	67.7%	67.6%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	最新の公民館活動情報に接することで館長の研修を進める。
「見直し」 「改善」案	各種研修等に参加して得た情報や学びを深めるため、研修会後の報告等において議論を活発化させ、更に単に学ぶだけでなく、学びの成果を生かす仕組みづくりを検討していく。